

「日本観光振興デジタルプラットフォーム」構築事業

現状及び課題、解決策と目指す姿

日本観光振興デジタルプラットフォームは、全国の観光情報の整備と一元化を通じ、旅行者への観光情報の効果的な発信と観光事業者の情報連携を強化してきた。一方、地域においてはデータ基盤となるDMPの構築を行う地域は増えてきているが、導入費・運用費等の課題があり、全国的な活用までに至っていない。

本事業では、データの活用による観光地経営の高度化を目的に、費用等の問題を解決し、地域が共通で利用できる全国観光DMPを構築し、データの活用推進を図る。

地域にとって有益なデータの提供により、観光事業者・自治体・DMO等が「観光地経営の高度化に向けた具体的な施策・打ち手」を検討し、効率的かつ戦略的な事業推進と、地域それぞれの目的達成ができる状態を目指す。

事業概要

本事業は、観光事業者・自治体・DMO等が「日本観光振興デジタルプラットフォーム」、「観光情報データ」をターゲット戦略や施策立案、マーケティング施策等に活用し、自発的にデータの活用ができる状態となるよう支援する。

目標

全国観光DMPを用いた実証事業の成功事例の創出を通じて、地域がデータを積極的に活用する「積極活用地域」を増やす。

実証内容

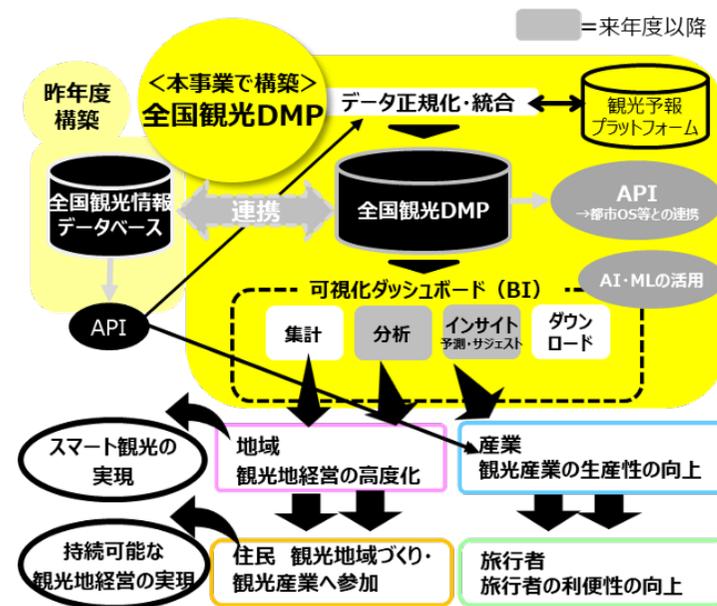
全国観光DMP・地域高度化DMPの構築。

観光地経営の戦略策定や具体的なマーケティング施策へのDMPとデータの活用促進。

目標値

KGI 全国観光DMPを活用した都道府県：2都道府県74市町村

KPI DMPの活用による成功事例を創出：4件



取組エリア：全国 コンソーシアム名：日本観光振興デジタルプラットフォーム推進コンソーシアム（代表事業者：公益社団法人日本観光振興協会）